

## Q&A A-D Strips

★まずはホームページからダウンロードできる[ユーザーズガイド](#)を一読ください。★

Q：マイクロフィルム以外のフィルムにも使用できますか？

A：はい、TAC ベースのフィルムであれば、ネガフィルム（カラー、白黒）、リバーサルフィルム（ポジフィルム）、映画フィルム等、使用できます。

Q：「室温で 24 時間」とありますが、「室温」とは何℃を想定していますか

A：あくまで目安ですが、20 度前後と考えてください。劣化度合いにもよりますが、数分で色が変わってしまうこともあります。冬場などで少し気温が低めであれば、念のため数日入れてください。入れる期間が長すぎて正確な結果が得られないということはありませんが、入れる期間が少ないと正確とは言えない場合がありますので、念のため長めに入れてください。

Q：室温で 24 時間以上入れてしまいましたが、検査結果に影響は出ますか。

A：ユーザーズガイド 6 ページの表以上の時間を入れてしまっても反応結果に影響は出ませんので大丈夫です。ただし入れる時間が足りないと反応結果が正確でない場合もありますので、長めに入れておけば問題ありません。

Q：チャートペンシルの色が、以前のものと若干色が違うのですが。

A：ロットによって若干色が異なります。色チャートはあくまで目安なので、青～緑～黄色という 3 色の色の濃淡変化によって目安をはかってください。

Q：1 回目に検査した時と、2 回目に検査した時で結果が異なるのですが。

A：1 回目と 2 回目のインターバルが数週間～数か月であれば、フィルム自体にはそれほど急激な変化はないと思われます。密閉された缶や容器の中に長年の酸化ガスがたまり、1 回目はそれに反応をして強い反応が出て、2 回目は容器を一度開封して換気された状態になり反応が弱く出たといったことが考えられます。

厳密に調査するためには、包材等からフィルムを取り出し、ジップロック等の密閉性のあるビニール袋等にに入れて調査してください。

Q：AD ストリップスの裏と表で色が違うのですが。

A：フィルムに接している側の色で測定してください。フィルム側と包材側で、反応の色に違いが出ることもあります。

Q：明らかに劣化しているフィルムなのに AD 値はそれほど強く反応が出ないのですが

A：フィルムの劣化がはなはだしく進み、酸が吹きってしまうと AD ストリップスを入れても色が変わらないことがあります。ですが、外見で明らかに劣化をしていると思います。また、フィルムの劣化には加水分解だけでなく、カビや剥離など様々なものがありますので、必ず目視による状態検査も併せて行ってください。

## Q&A A-D Strips

Q：AD ストリップスをフィルムから出して並べておいたら、色が戻ってしまったのですが。

A：フィルムから取り出したら、すぐに色を計測するかチャートと一緒に写真をとるなどしてください。少し経つと色が青にもどってしまうことがあります。

Q：一度使ったAD ストリップスを、再度使えますか。

A：AD ストリップスは何度も使う想定で作られていないので、再度検査をするときは新しいものを使ってください。フィルムから出すと色が戻る場合もありますが、正確な結果をえるため、新しいものを使ってください。

Q：開封後の使用期限は？

A：光や空気を当てないように密閉し、AD ストリップスの色が青いままであれば使用可能です。特に何年とはいえませんが、数年、大丈夫な場合もあります。